

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・イラク情勢の緊迫化により、海外旅行を避けた国内旅行客が増え、来客数が増えている。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・改装効果もあり、連日来客数が30～100%増で推移している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は、曜日毎の違いはあるが、全体的に増加している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車取得税の減税による影響もあり、販売量増加につながっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宴会件数が増加しており、レストランなどの売上も伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・直前予約の割合が大きくなっているが、少人数での歓送迎会の予約が伸びている。
	変わらない	商店街（代表者）	競争相手の様子	・競争相手が増えていくばかりで悪い状況は変わらない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数に変化はないが、客単価が低く売上の増加につながっていない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数は増加しているが、客は不必要な物を買わず、客単価は相変わらず低い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・来客数は横ばいだが、高額商品の売上が伸びない。卒業式の花束も低価格の商品が買われている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気温が例年より低かったせいもあり、客は春物の下見をしても購入にはいたらず、売上が伸びていない。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・来客数は減少しているが、全体的な売上はある程度確保できている。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・競争相手のスーパー、商店も行き詰まっており、チラシ合戦も終えんしている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・寒さが続いたため春物関係の動きが非常に鈍い。客は必要が生じないとなかなか購入しない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は依然として低迷を続けている。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・来客数は前年比で数ポイント上回っているものの、周辺にコンビニ等の出店ラッシュがあり、厳しい状況が続いている。他店との差別化の推進等で現状をなんとか維持している。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の前年比は93%台で、前月比でも悪化傾向にある。高額ハイウェイカードが2月で販売終了となったことも影響している。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・良い商品にはリピートがあるが、全体としては必要なものを必要なだけ買う傾向が続いている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・客は興味のある商品は多少高くても購入する。生活必需品は最低限の機能のあるものを購入する傾向がある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・昨年に比べて思わしくない部分もあるが、若者の動きは若干良い。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・土日祝日の個人、家族の来客数には回復の兆しがみえる。しかし法人客数が引き続き減少傾向であり、全体では底ばいの状況である。		
バー（経営者）	来客数の動き	・団体客が減少し2人以下での来店が増加しているため、来客数は減少している。		
スナック（経営者）	来客数の動き	・歓送迎会等は1次会で終わる場合が多く、スナックにとっては厳しい状況が続いている。		
タクシー（経営者）	来客数の動き	・客の話からは、どの業種も厳しいという声が聞かれる。イラク情勢の緊迫化もあり、回復はまだ先のことである。		
タクシー運転手	来客数の動き	・ほとんど変化はみられないが、年間で見ると徐々に悪くなっている。		
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数は横ばいか多少増加しているところもある。売上は横ばいか多少減少している状況である。		
美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。		

やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・客単価は依然として低いが、それに加えて、来客数が減少しており、また買い物の仕方により一層厳しくなっている。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・寒い日が多く、人出はまばらである。自動販売機の売上も悪く、売上は増加していない。 ・イラク情勢の緊迫化で、ガソリンなどの値上げを懸念した買い控えがみられる。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・イラク情勢の緊迫化の影響がある。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・例年よりも気温が低く、主力の婦人服の春物商材の動きが鈍い。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・来客数がかかなり落ち込んでいる。平日はもちろん土日にも目に見えて減少している。
	スーパー（店員）	お客様の様子	・客は相変わらず単価の低い商品を購入する傾向がある。また、競合店と価格を比べてから購入している。
	コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・担当エリアに競合店が出店している。3店に影響が出ており、うち1店は閉店に追い込まれる可能性がある。
	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・来客数、販売量、単価のすべての要素において、状況は思わしくない。
	衣料品専門店（企画担当）	お客様の様子	・客の購買意欲が著しく低下している。ピークの商材である春物が売れない。
	家電量販店（経営者）	単価の動き	・客の買物の仕方は慎重で、割安商品だけを買っていく。
	住関連専門店（店員）	販売量の動き	・前年よりも売上が減少している。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・観桜イベントの予約が前年の7割程度となっている。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数が減少しており、解約数も例年以上に多い。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・節約傾向が続いており、客は余分な支出は極力しない。
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・近隣の他クラブの状況をみても、予約が前年の9割程度と惨たんたる状況である。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数が減少している。
	パチンコ店（店長）	来客数の動き	・稼働率には目立った変化はみられないが、客単価は低下している。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・取引先が先月から今月にかけて数社廃業している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・イラク情勢が緊迫化しており、石油製品の高とうが予想されるなど、消費意欲が低下している。
	百貨店（販売促進担当）	競争相手の様子	・近隣店舗の大規模な改装が影響して、来客数が減少している。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・ビール、発泡酒ともに、ディスカウント店やスーパーへ客が流れていく傾向が一層強くなっている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3月中旬まではまずまずの動きだったが、中旬以降イラク情勢の緊迫化が進んでからは、問い合わせ件数、来客数ともに激減し、消費意欲が一気に低下している。
	その他専門店〔石材〕（経営者）	競争相手の様子	・仕事量の減少に伴い、単価の下落が経営にまともに響いている。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・来客数は対前年比で減少している。フレッシュスタート月なので、かなり厳しい状況である。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・イラク情勢の緊迫化と東南アジアにおける重症急性呼吸器症候群のダブルパンチで、客のキャンセルが出るなど死活問題になっている。
	住宅販売会社（業務担当）	お客様の様子	・取引先が倒産し、信用不安が広がっている。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き

		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売高は3か月前と比べて増加しているが、輸出が欧州向けを中心に不振である。全体では3か月前より良くなっている。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	受注量や販売量の動き	・1日当たりの生産量は高水準を維持している。
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・イラク情勢が不透明で、不安を抱えている状況である。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・利益を上乗せしない原価の見積を提出しても仕事とれない状況である。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・期末セールに対して顧客の反応が良く、汎用機種を中心に販売量が増加している。顧客は機械を耐用の限界まで使用しており、価格が見合えば購入する。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・コストダウン要求が更に厳しくなっている。また、下請けの統合が進んでいる。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・中部国際空港、愛知万博、都市再生、PFI関連のプロジェクト情報が出始めてきているが、不確定要素も多い。 ・一般のプロジェクトは工事規模が依然として小さく、受注量も少ないため、厳しい状況が続いている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は3か月前とほとんど変わっていない。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・引越しの受注価格は昨年と比べて85～90%で推移している。昨年と同じ仕事量でも、受注価格が低いため利益は上がらない。
		金融業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・建設業などで採算度外視で受注する企業があり、それが市場価格としてみなされるなど、悪循環に陥っている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告はサービス業で増加しており、流通業では減少している。全体では前年並みを維持している。
やや悪くなっている		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製品の動きが鈍くなっている。
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・状況は相変わらず悪く、受注量が伸びる材料は見あたらぬ。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・取引先の設備投資が見込めない。
		金属製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数は減少しており、それに伴い価格競争に拍車がかかっており、低価格受注はまだ続く。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・昨年と比較して貨物量の伸びが良くない。
		金融業（従業員）	受注量や販売量の動き	・イラク情勢の影響があり、受注量は多少減少している。
		公認会計士	それ以外	・顧客から会社整理、債権回収、金融機関の貸し渋り等に関する相談が増加している。また、顧問料の延滞件数も増加している。
悪くなっている		非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注価格や販売価格の動き	・これまでと比較しても単価がかなり低下している。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・取引先から、3～5月の当初の内示数量が大幅に下方修正されてきている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は3か月前と比べて、有効求人増加、有効求職者の減少によって0.09ポイント上昇し0.96倍となっている。 ・新規求人は、前年同月比で建設業で27%減少したものの、製造業で25%、サービス業で13.7%増加し、全体では7.8%増加と好調である。
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・大手自動車企業関連の採用意欲が非常におう盛で、一部製造業の雇用の充足やIT不況といったマイナス面を補って余りあるほどの勢いがある。	
変わらない		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・顧客企業のアウトソーシングは着々と進行しているため、人材派遣業界では著しい業績低下はみられない。しかし結局は官公庁や一部の大手企業に支えられているため、やや心もとない。

	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が大きく増減している業種、職種はなく、安定した状態である。
	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・求人数は増加しているが、求職者数も減少していない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等の求人数が増加しているが、金融保険業では大きな減少となっている。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・派遣先からの派遣料金の値下げ要求が相変わらず強く、途中解約も出ている。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・注文状況は前年並みには回復しているが、派遣料金の引き下げ要求が厳しくなっている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・銀行の不良債権処理に伴い、営業所や出先機関の廃業、閉鎖、倒産等が多く発生している。
悪くなっている	-	-	-